

阿武山宿泊ゼミ第6回

- ・日時 7月6日(土)
- ・場所 防災研究所 阿武山観測所 大阪府高槻市奈佐原 944
- ・テーマ 地震予知と前兆現象の発生メカニズム
- ・参加資格 大学教養程度の数学・物理の素養のある人が望ましい。
- ・世話人 阿武山観測所関係 教員・院生有志 (責任者 飯尾能久)
- ・参加費 食材の実費を徴収予定

○ 趣旨説明

阿武山合宿ゼミ第6回を下記のように開催します。今回のテーマは「地震予知と前兆現象の発生メカニズム」です。対象は、大学教養程度の物理・数学の素養をもっている人です。つまり、地震学など専門分野の知識の無い学部生の参加も歓迎します。もちろん学生以外もOKです。

構成としては、専門分野の知識の無い人でも、議論することが出来るように、最初の3つのゼミで最低限必要な知識について勉強します。この部分は、院生有志にレポーターを御願ひします(各パートの内容については後述します)。レポーターは既存の知識を紹介するのではなく、論理の流れを重視した発表を行うよう心がけてください。この場合は、基本的には、教員は参加しません。 次のゼミは、それを受けて、教員も含めて、つつこんだ議論を行います。

参加して下さる方に御願ひしたいことは、基本に立ち戻って、それぞれ自分の頭で一から考えることです。その際、事実と思って良い部分とその先の推論部分を分けて考えることが重要だと思います。

○ プログラム案 (内容は院生有志が最終決定しますので、変更の可能性があります)

7月6日(土)

- 10:00~10:30 趣旨説明
- 10:30~12:00 セミナー1 地震予知の定義と様々な前兆現象(その1)
- 12:00~13:00 昼食 休憩
- 13:00~14:30 セミナー2 地震予知の定義と様々な前兆現象(その2)
- 14:45~16:15 セミナー3 前兆現象の発生メカニズムのレビュー
- 16:30~18:00 セミナー4 教員も合流
- 18:30~ 懇親会

そのまま宿泊しますが、帰ることも可です。最寄りのバス停まで歩けば22時過ぎまで便があります。

セミナー1、地震予知の言葉の定義と主に地震学(地震活動、プレスリップなど)に関連した前兆現象について発表してもらいます(Scholz 1988cなどを参照)。

セミナー2、主に地震学以外の前兆現象(水文学、地球化学、電磁気など)について取り上げてもらいます(Roeloffs (1988a)、Wakita(1996)などを参照)。

セミナー3、先行現象の発生メカニズムと考えられるダイラタンシーモデル、プレスリップモデル、臨界点理論などについてレビューします。

(三つのセミナーは基本的にショルツ;地震と断層の力学7章をベースに行います。)

○ アクセス、宿泊など

阿武山観測所HP参照 JR 摂津富田駅からバスと徒歩で40分程度.

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/~abuyama/>

電話：072-6-94-8848, 8849

風呂・シャワー，畳の部屋(大小合わせて8部屋あり)，ふとん等あり(数に限りあり).

ただし，タオル，パジャマなどは，用意しておりませんので，各個人でご用意ください.

昼食は各自準備して下さい。

夕食を準備します。飲み物等も準備します。食材の実費を徴収予定(千円程度?)です。

※注意：畳の部屋にはクーラーはありません。山の中なので虫が出るかも知れません。

各個人で対策をよろしくお願い致します。

また貴重品は必ず身につけて，各個人で管理をお願いいたします。

○ 申し込みシート

<必須項目>

- ・氏名
- ・所属、身分
- ・メールアドレス
- ・電話番号（できれば携帯電話番号）
- ・宿泊 (する・しない)

<その他>

- ・その他 希望等ありましたら，ご記入下さい。

○ 申込・問い合わせ先と締め切り

地震予知研究センター 千葉・青木・飯尾

abuyama_dpri@dpri.kyoto-u.ac.jp

準備が必要ですので，7月2日までに申し込み下さい。

ゼミ室の収容人数，ふとんの数に限りがありますので，予定人数に達したら締め切りさせていただきます。